2020年8月11日

逗子市長　桐ケ谷　覚殿

日本共産党逗子市議会議員団

団　長　岩室　年治

橋爪　明子

新型コロナウイルス感染のクラスター発生とＰＣＲ検査の支援と拡充について(要請)

新型コロナウイルス感染の急拡大が止まらず、医療体制崩壊を引き起こし、救える命が失われることが懸念されています。日本共産党は、国に対し、感染震源地(エビセンター)の明確化、ＰＣＲ検査の実施を求めてきました。

逗子市内においても、８月２日に桜山３丁目の有料老人ホーム職員の感染が発覚、その後、施設関係者のＰＣＲ検査の結果、入居者７名、職員７名で計１４名が陽性と分かり、家族への感染も判明。現在、県のクラスター対策チームが感染拡大防止策のため支援を始めています。

本市の感染者数は、８月 11 日時点で１９名となり、感染拡大への不安からも、適切な情報提供、具体的な対策が求められています。

今回のクラスター発生と感染拡大を受けて、医療・介護・福祉・教育の関係者へのＰＣＲ検査助成制度をつくり、感染対策と支援を行なうよう要請致します。

※別途資料　日本共産党中央委員会「新型コロナ対策に関する緊急申し入れ」